

An aerial photograph of a city, likely in Japan, showing a wide river flowing through the center. The city is densely packed with buildings, and there are green spaces and parks interspersed throughout. In the background, there are rolling hills and mountains under a clear sky. The overall scene is a panoramic view of a modern urban area with natural elements.

# 第1章 ビジョン策定の趣旨

## ビジョン策定の背景と目的

### 【背景】

岩出市は、和歌山市の中心部から東に約15km、関西国際空港から約30km、大阪都心部から50km圏内にあり、国際拠点空港となる関西国際空港に近く、大阪方面には市の中心部を南北に県道泉佐野岩出線、和歌山市方面には東西に走る国道24号の主要幹線道路に加え、平成29年3月の京奈和自動車道紀北西道路(岩出根来インターチェンジ～和歌山ジャンクション)の開通により、和歌山地域の京奈和自動車道が全線開通となったことで、広域交通の利便性も飛躍的に向上しています。

そのような中、岩出市では、都市の風格をもち、紀北地域の各都市、大阪からの玄関都市としてふさわしい役割を果たすため、これまで都市基盤整備の充実を図り、まちの都市化を進めるとともに、自然環境の保全や歴史・文化の伝統継承など、市が保有する財産を守り、後世に引き継いでいくための施策に取り組み、特色を生かしたまちづくりを進めてきましたが、近年、社会経済情勢や国の動向など、岩出市を取り巻く環境は、厳しい状況にあり、特に人口については国立社会保障・人口問題研究所の人口推計で令和7年から減少に転じるとされています。

今後、定住人口の減少が見込まれる岩出市において、人口減少の影響を緩和し、地域の活力を取り戻すためには、観光客や二地域居住者といった交流人口を拡大させることが必須であり、交流人口の拡大が地域経済の活性化に大きく貢献するといえます。観光客や二地域居住者によって岩出市での消費が増えると、その消費行動による経済効果が創出され、また地域住民との交流により、交流人口が地域に対して愛着を持つことで、さらなる地域経済の活性化が期待されます。これにより、市の将来像である「活力あふれるまち ふれあいのまち」の実現に向けて、岩出市まち・ひと・しごと創生総合戦略における、基本戦略である「人が集う、魅力あるまち」「産業振興による活力あるまち」を目指します。

## ビジョン策定の背景と目的

### 【目的】

本ビジョンは、本市の観光に関する現状を踏まえたうえで、今後の本市の観光戦略における基本的な方針を定め、必要な取り組みを市全体で着実に進めていくために策定するものです。

本市では観光ビジョン作成にあたり、自分たちの言葉でわかりやすく役に立つものを作ろうという思いのもと、特に「観光とは何なのか、なぜわが市では観光が重要なのか」「観光の目的・目標、理想の観光の姿、観光によって地域がどうなることを目指すのか」「目標達成のためにどういうことをするのか」を意識して策定し、観光振興の着実な振興を目指していきます。

## ビジョンの位置づけ

本ビジョンは、「岩出市長期総合計画」の観光分野における個別計画として位置付けるものであり、今後の観光振興を進めていくうえでの市の理念や方向性を定めるものです。

また、本ビジョンは、分かりやすさを重視するべく、「第3章 基本的な考え方」パートについては、産業振興課の職員による会話体で進みます。実在の人物を想定した等身大の会話なので、実際の様子を想像しながら楽しみながら、ご覧いただければと思います。

まずは市職員が本ビジョンについて知り、理解し、一人ひとりが、本市の観光のこれからについて考え、自分のこととして捉えてもらい、そのうえで発展的に市民や市内観光関係者・事業者に普及啓発を図ることとします。

## 計画期間

本ビジョンは、令和7年度を初年度とし、令和16年度を目標年度とします。